



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 鹿児島大学学術研究院理工学域理学系 (物理・宇宙専攻) 教員

1. 教授（1名）
2. (1) 理工学域理学系（旧称理工学研究科（理学系）物理・宇宙専攻宇宙情報講座  
(2) 鹿児島市
3. 天文学。観測・理論を問わず、天の川銀河や銀河の構造や性質および進化に関する研究を行える人が望ましい。
4. (研究)：当講座の教員と連携し、当専攻の教育研究活動を強化発展できるテーマを追求することが望ましい。  
(教育)：物理科学科の学部生や物理・宇宙専攻の大学院生の研究指導と授業のほか、共通教育等、他学科・他学部学生を対象とした授業も担当。  
(大学業務)：各種委員会等、大学運営に関する業務も応分の負担あり。
5. (1) 決定後、なるべく早い時期（2016年4月1日以前）、(2) なし。定年は65歳。
6. 次の条件をすべて満たすこと。  
(1) 博士の学位を有する。(2) 国籍は問わないが、日本語での教育や大学運営に支障がない。
7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) これまでの研究内容の概要、(3) これまでの教育活動の概要、(4) 業績一覧。下記の分類ごとに、著者名・題名・発表年・掲載誌・巻・ページを記載のこと。i. 査

読付き論文、ii. 著書、iii. 国際シンポジウム等の集録（査読付きの場合はその旨を記載）、iv. 最近5カ年の国際研究集会での発表（招待講演の場合は、その旨を記載）、(5) 過去10年間の競争的資金獲得状況、(6) 研究計画、(7) 教育についての抱負、(8) 主要論文別刷5編以内（コピー可）、(9) 応募者に関して問い合わせのできる方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスを含む）

8. 2015年8月18日（火）17時必着。
9. (1) 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35  
鹿児島大学学術研究院理工学域理学系物理・宇宙専攻教員選考委員会 委員長 半田利弘  
(2) 半田利弘 [handa@sci.kagoshima-u.ac.jp](mailto:handa@sci.kagoshima-u.ac.jp),  
099-285-8967
10. 封筒に「物理・宇宙専攻教員応募書類」と朱書し、簡易書留相当で送付のこと。海外在住の場合に限り、上記の問合せ先の電子メールへの送付も受け付けるが、送受信時の障害等による不着事故等について募集側は責任を負わない。選考過程で面接を行う場合あり（その際の旅費は支給せず）。応募書類は返却しません。
11. より詳しい情報を掲載しているので、以下のwebページもご覧ください。  
[https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/150518\\_rigaku\\_koubo.pdf](https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/150518_rigaku_koubo.pdf)

※本学は、男女共同参画社会基本法に則り、女性研究者支援をはじめとする男女共同参画にかかわる取り組みを積極的に推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎いたします。支援内容の詳細（支援員制度、相談体制等）については、以下のURLをご覧ください。

鹿児島大学男女共同参画推進センター  
<http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

※応募者から取得した個人情報については、鹿児島大学大学院理工学研究科の教員採用の目的だけに利用し、本学以外の第三者に提供または公表いたしません。

## 京都大学基礎物理学研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 京都大学基礎物理学研究所  
(2) 京都市左京区北白川追分町
3. 宇宙物理学 (理論)
5. (1) 決定後早期  
(2) 特に設けない  
(少なくとも約5年は本研究所に在職し、約15年経過後の異動を推奨)
7. 提出書類
  - 履歴書
  - 発表論文リスト (主要論文5点以内に印)
  - 研究歴 (研究成果の説明)
  - 就任した場合の研究計画
  - 着任可能時期
  - 主要論文 (発表論文リストで印を付けた論文のpdfまたはアーカイブ番号を指定)
  - 他薦の場合はさらに推薦書
8. 応募締切  
2015年7月20日 (月) 必着
9. (1) 提出先  
ap.jinji\_{AT}\_yukawa.kyoto-u.ac.jp  
(\_{AT}\_を@に置き換えてください)  
推薦書のみ郵送可:  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学基礎物理学研究所長 佐々木節  
(2) 問合せ先  
同研究所 藤田裕子 TEL: 075-753-7009  
e-mail: fujita\_{AT}\_yukawa.kyoto-u.ac.jp
10. e-mailの件名は「宇宙物理学教授応募」と記載。  
詳細は、  
<http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/contents/info/detail.php?NID=221>

## 国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所教授)

1. 教授1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所  
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学および関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に、すばる望遠鏡を用いた科学的成果のさらなる創出に向けて取り組んでいます。その一方、TMTの建設が本格化するなか、すばる望遠鏡の運用戦略や、将来の

TMT・すばる両望遠鏡の運用プランの策定等が急務となっています。そこで、今後10年スケールにわたって、ハワイ観測所の運用マネジメントの中核を担うことのできる教授を求めます。職務および必要な能力の詳細については、下記を参照してください。

[http://www.naoj.org/Announce/2015/05/20/j\\_index.html#1](http://www.naoj.org/Announce/2015/05/20/j_index.html#1)

5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期  
(2) なし
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績, (4) 計画書 (個人で行う研究計画に加え、期待される職務を遂行するにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください), (5) e-mailアドレス, (6) 評価書2通 (ただし、評価書は評価者ご本人から直接提出先e-mailアドレスへ提出するよう依頼し、応募書類には評価者の氏名、連絡先を記載すること)
8. 日本時間2015年8月31日 (月) 17時必着
9. (1) 応募書類を [apply-hawaii-prof20150831@nao.ac.jp](mailto:apply-hawaii-prof20150831@nao.ac.jp)へメール添付で送付  
(2) 国立天文台ハワイ観測所長 有本信雄  
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,  
Hilo, HI 96720, U.S.A.  
e-mail: [arimoto@naoj.org](mailto:arimoto@naoj.org)
10. • すべての応募書類 (上記7の (1)~(5) および (6)) はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。  
• PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること (メール1通あたり10 MB程度まで)。  
• 応募書類が受理されると3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、[apply-hawaii-prof20150831@nao.ac.jp](mailto:apply-hawaii-prof20150831@nao.ac.jp)へ、お問い合わせください。
11. 選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

## 国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所助教)

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所

(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ

3. 天文学および関連分野

4. 国立天文台ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に、すばる望遠鏡を用いた科学的成果のさらなる創出に向けて取り組んでいます。とりわけ、超広視野主焦点カメラ (Hyper Suprime-Cam; HSC) を用いた大型サーベイにより取得される大規模データを、より確実に科学的成果につなげていくことを重点として取り組んでいます。今回の公募では、大規模データをより確実にしかも効率よく取得するプロセスの構築、運用に責任をもっていただくとともに、HSC等の超広視野装置を用いた大規模サーベイに基づくサイエンスを自らも推進できる意欲ある助教を求めます。職務および必要な能力の詳細については、下記を参照してください。

[http://www.naoj.org/Announce/2015/05/20/j\\_index.html#1](http://www.naoj.org/Announce/2015/05/20/j_index.html#1)

5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期

(2) なし (5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります)

6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方

7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績, (4) 計画書 (個人で行う研究計画に加え、期待される職務を遂行するにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください), (5) e-mail アドレス, (6) 評価書2通 (ただし、評価書は評価者ご本人から直接提出先 e-mail アドレスへ提出するよう依頼し、応募書類には評価者の氏名、連絡先を記載すること)

8. 日本時間2015年7月15日 (水) 17時必着

9. (1) 応募書類を apply-hawaii-assis20150715@nao.ac.jp へメール添付で送付

(2) 国立天文台ハワイ観測所長 有本信雄  
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,  
Hilo, HI 96720, U.S.A.  
e-mail: arimoto@naoj.org

10. ・すべての応募書類 (上記7.の (1)~(5) および (6)) はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。

・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること (メール1通につき10 MB程度まで)。

・応募書類が受理されると3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、apply-hawaii-assis20150715@nao.ac.jp へ、お

問い合わせください。

11. ・給与待遇は年俸制になります (年額の12分の1を月額支給)。

・選考は国立天文台運営会議で行います。

・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokkyodo/> をご覧ください。

**国立天文台研究教育職員 (水沢 VLBI 観測所 助教)**

1. 助教 1名

2. (1) 国立天文台水沢 VLBI 観測所

(2) 岩手県奥州市

3. VLBI を中心的な手法とする観測天文学

4. 水沢 VLBI 観測所では、VERA や日本国内の電波望遠鏡を用いた VLBI 観測網を運用して共同利用に供するとともに、これらの装置を韓国や中国の電波望遠鏡と結合した東アジア VLBI 計画を推進しています。

今回募集する助教には、VERA 等の水沢 VLBI 観測所の装置を運用しつつそれを用いた観測天文学研究を行うとともに、東アジア VLBI 等の国際連携を推進し、国際観測網の整備や性能評価等を中心的に担っていただきます。また、これらの国際的な活動をベースに、電波天文コミュニティの意向も踏まえつつ水沢 VLBI 観測所の将来計画を策定しそれを推進することにも貢献していただきます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期

(2) なし (5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります)

6. 関連分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方

7. 以下の書類を pdf ファイルとし、電子メールに添付して送付してください。(1) カバーレター, (2) 履歴書 (研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト (査読論文とそれを区別し、共著の場合は主要なものについて役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編の pdf コピー, (5) 職務に対する抱負と計画, (6) 本

人について意見を述べられる方(2名)の氏名と連絡先,(7)できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(e-mailアドレス,電話番号).

8. 2015年7月31日(金)17時(日本時間)必着
9. (1) e-mail(応募専用):  
 apply-vlbi-assis20150731\_AT\_ nao.ac.jp  
 (\_AT\_を@で置き換える.以下同様)  
 メールのSubject欄に“水沢VLBI観測所助教応募”と明記してください.
- (2) 国立天文台水沢VLBI観測所長 本間希樹  
 e-mail: mareki.honma\_AT\_ nao.ac.jp  
 メールのSubject欄に“水沢VLBI観測所助教問い合わせ”と明記してください.
10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)~(7))はそれぞれpdfファイルに変換し,メールに添付すること  
 ・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し,あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール1通最大10MB程度まで).  
 ・郵送や直接持参による応募は受け付けません.  
 ・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません.  
 ・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします.それが届かない場合には, apply-vlbi-assis20150731\_AT\_ nao.ac.jpへお問い合わせください.
11. ・給与待遇は年俸制となります(年額の12分の1を月額支給).  
 ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し,男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており,業績の評価において同等と認められた場合には,女性を積極的に採用します.詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください.

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

### 神奈川大学工学部物理学教室教員

1. 2014年8月(第107巻第8号)
2. 清水雄輝(宇宙航空研究開発機構主任開発員)
3. 2015年4月1日

### 平成27年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

1. 2014年9月(第107巻9号)
2. 廿日出文洋(国立天文台チリ観測所 特任助教)
3. 2015年4月1日

### 平成27年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制特任研究員)

- 野辺山宇宙電波観測所
1. 2014年11月(第107巻11号)以下,すべて共通
  2. 金子紘之(筑波大学数理物質系 研究員)  
宮本祐介(茨城大学宇宙科学教育研究センター 研究員)
  3. 2015年4月1日
- 水沢VLBI観測所
2. 坂井伸行(国立天文台水沢VLBI観測所 日本学術振興会特別研究員)  
元木業人(山口大学時間学研究所 日本学術振興会特別研究員)
  3. 2015年4月1日
- 太陽観測所
2. 大辻賢一(国立天文台太陽観測所 研究員)
  3. 2015年4月1日
- 天文シミュレーションプロジェクト
2. 朝比奈雄太(千葉大学大学院理学研究科 大学院生)
  3. 2015年4月1日
- ハワイ観測所
2. 市川幸平(京都大学大学院理学研究科 大学院生)
  3. 2015年4月1日
- チリ観測所
2. 諸隈佳菜(国立天文台野辺山宇宙電波観測所 研究員)  
江草芙実(JAXA宇宙科学研究所 博士研究員)
  3. 2015年4月1日
- SOLAR-C準備室
2. 渡邊恭子(JAXA宇宙科学研究所 日本学術振興会特別研究員)
  3. 2015年4月1日

**会 務 案 内**

**2016 年度内地留学奨学金の希望者の募集**

2016年度内地留学奨学金希望者の募集を行います。  
内地留学奨学金は、主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などや、アマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります。これまで多くの方がこの制度を利用し、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。過去の奨学金の対象となった研究テーマは、学会ホームページ ([http://www.asj.or.jp/asj/naichi\\_app.html](http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)) に掲載されています。なお、研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者がわからない場合は、できるだけ早めに、内地留学奨学金選考委員長にご相談ください。多くの方々の応募をお待ちしています。

**募集要項**

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2016年4月から2017年3月までの12カ月のうち希望する期間。

受入研究機関、指導教員（受入研究者）と相談のうえ、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設

定したりするなどの方法が考えられます。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支 給 額：25万円以下。支給は2016年4月を予定。

申 込 み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長 宛に郵送してください。

応募締切：2015年8月31日（月）必着。

審 査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査のうえ、決定し、10月中旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務所にあります（学会事務所に連絡をくだされば、お送りします）。申請書の書き方の例もありますので、ご請求ください。日本天文学会のウェブページ（「各種手続・書式」の「内地留学」の項、[http://www.asj.or.jp/asj/naichi\\_app.html](http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)）からもダウンロードできます。なお、日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：

内地留学奨学金選考委員長 濤崎智佳  
（〒943-8512 上越市山屋敷町1番地  
上越教育大学 自然・生活教育学系）  
TEL/FAX: 025-521-3413  
e-mail: [tosaki@juen.ac.jp](mailto:tosaki@juen.ac.jp)

青木和光（編集長）、上野悟、大栗真宗、奥村真一郎、富永望、萩原喜昭、馬場彩、平松正顕、町田正博、諸隈智貴、吉田二美  
平成27年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社  
定価720円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)  
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）